

平成 29 年度 学科 AO 入試 総合考査 問題用紙【体育学科】
試験時間：90分

平成 26 年度に公表された OECD 国際教員指導環境調査(TALIS)によると、中学校教員の一週間当たりの平均勤務時間は、参加国・地域(34カ国)平均が 38.3 時間であったのに対して、日本は 53.9 時間で最長であった。

また同調査において、中学校教員の一週間当たりの平均課外活動指導時間をみると、参加国・地域(34カ国)平均が 2.1 時間であったのに対して、日本は 7.7 時間とこれも最長であった。

一方、学校現場を取り巻く環境は近年、複雑化・多様化し、学校に求められる役割が拡大するばかりで、これが上述のような教員の長時間労働の大きな要因となっている。

教員が子どもたちと向かい合うための十分な時間と誇りややりがいを持てる環境を確保するために、学校現場における業務改善の推進と、次世代の学校指導体制の強化は、喫緊の課題として、いままさに議論が重ねられているところである。

こうした教員を取り巻く現況を踏まえたうえで、以下の問いに答えなさい。

- 問1. 教員の仕事は多岐にわたり、その主な内容は、①教科指導(授業)、②学級経営(生徒指導)、③進路指導(キャリア教育)、④課外活動(部活動)指導等である。そこで、日々の教科(保健体育)や課外活動(運動部活動)の指導において、保健体育科教員ならではの(他教科教員とは異なる)果たすべき役割(あるいは伝えるべきこと)について、あなたの考えるところを詳しく述べなさい。

【教科指導(保健体育の授業)で果たすべき役割・伝えるべきこと】

【課外活動(運動部活動)の指導で果たすべき役割・伝えるべきこと】

- 問2. 部活動は、生徒にとってスポーツや文化等に親しむとともに、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資する重要な活動として教育的側面の意義は高く、学校教育活動の一環として、十分な役割を果たしている。しかし、その一方で、課外活動の指導にあたる教員の負担は増すばかりで、様々な無理や弊害が生じている。次ページ以降に示すデータ(図 1,2,3)をもとに、運動部活動指導者の実態について、問題点を指摘し、その改善策を具体的に提言しなさい。

【問題点の指摘】

【改善策の具体的な提言】

- 体育×経験あり:「担当教科が保健体育」かつ「現在担当している部活動の競技経験あり」
- 体育×経験なし:「担当教科が保健体育」かつ「現在担当している部活動の競技経験なし」
- 体育以外×経験あり:「担当教科が保健体育でない」かつ「現在担当している部活動の競技経験あり」
- 体育以外×経験なし:「担当教科が保健体育でない」かつ「現在担当している部活動の競技経験なし」

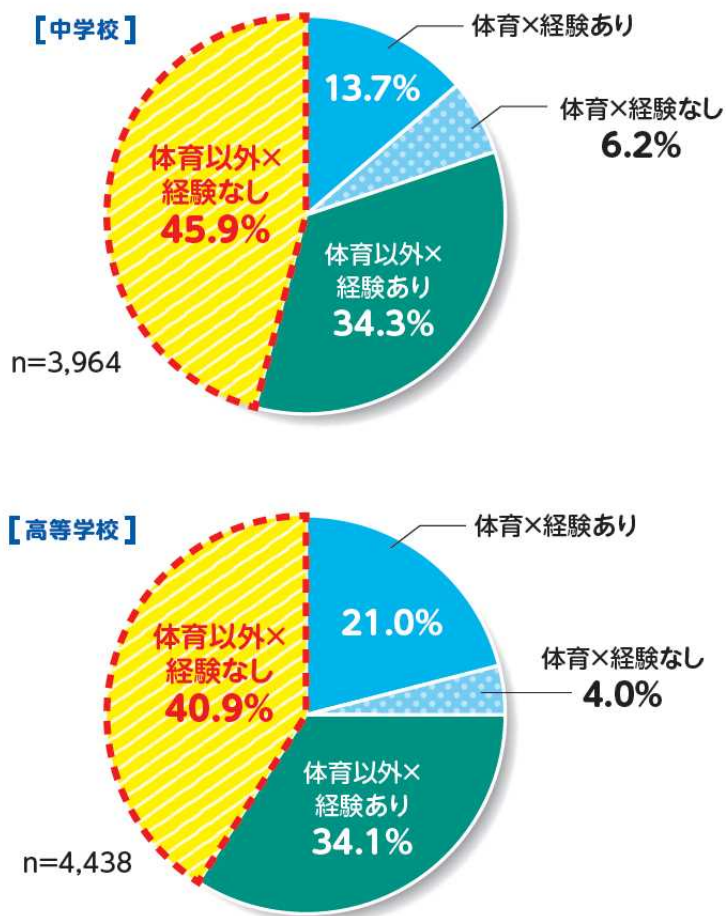


図2 <担当教科×現在担当している競技の過去経験の有無>と<指導において最も問題・課題であると感じている項目>との関連

指導者調査

【中学校】

	全体 (n=3,833)	体育×経験あり (n=520)	体育×経験なし (n=237)	体育以外×経験あり (n=1,302)	体育以外×経験なし (n=1,728)
第1位	校務が忙しくて思うように指導できない(32.3%)	校務が忙しくて思うように指導できない(36.7%)	校務が忙しくて思うように指導できない(29.1%)	校務が忙しくて思うように指導できない(40.2%)	自分自身の専門的指導力の不足(39.5%)
第2位	自分自身の専門的指導力の不足(26.7%)	施設・設備等の不足(18.5%)	自分自身の専門的指導力の不足(27.8%)	自分自身の専門的指導力の不足(16.3%)	校務が忙しくて思うように指導できない(25.6%)
第3位	自分の研究や自由な時間の妨げになっている(13.6%)	部員数が少ない(17.5%)	部員数が少ない(13.5%)	自分の研究や自由な時間の妨げになっている(14.8%)	自分の研究や自由な時間の妨げになっている(14.9%)

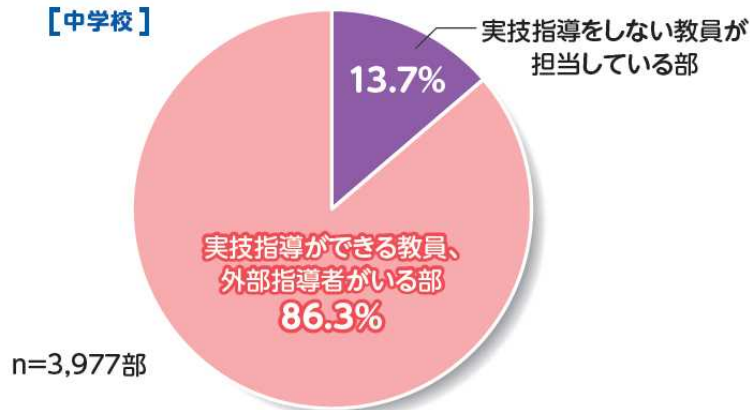
【高等学校】

	全体 (n=4,229)	体育×経験あり (n=879)	体育×経験なし (n=164)	体育以外×経験あり (n=1,440)	体育以外×経験なし (n=1,699)
第1位	校務が忙しくて思うように指導できない(28.8%)	部員数が少ない(28.8%)	自分自身の専門的指導力の不足(27.4%)	校務が忙しくて思うように指導できない(37.1%)	自分自身の専門的指導力の不足(38.3%)
第2位	自分自身の専門的指導力の不足(24.3%)	校務が忙しくて思うように指導できない(23.9%)	校務が忙しくて思うように指導できない(21.3%)	部員数が少ない(17.6%)	校務が忙しくて思うように指導できない(24.8%)
第3位	部員数が少ない(16.4%)	施設・設備等の不足(21.4%)	施設・設備等の不足(18.9%)	自分自身の専門的指導力の不足(16.5%)	自分の研究や自由な時間の妨げになっている(10.9%)

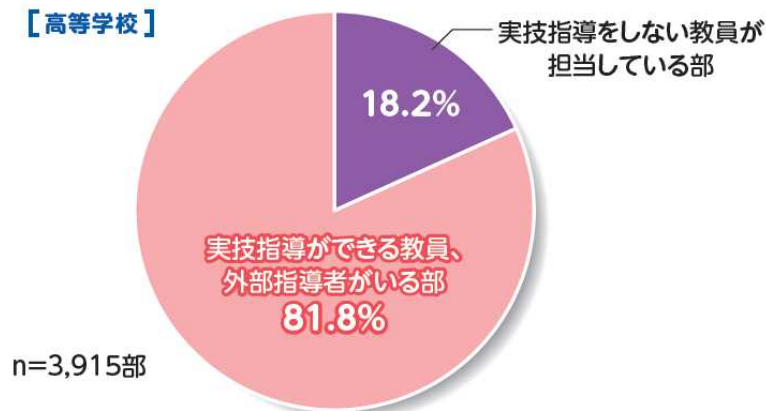
図3 実技指導をしない教員が担当している運動部の割合

学校単位調査

【中学校】



【高等学校】



出典：「学校運動部活動指導者の実態に関する調査報告書」、

公益財団法人日本体育協会指導者育成専門委員会、平成26年7月